

心に残る・未来に残したい記憶

月島百景

～第1集～

活動報告と今後の展開について

実施内容… **ビデオカメラによるインタビュー収録** (記憶の採集)
文字起こし・使用箇所の選定・ビデオ編集 (口述史記録の編集)

- 主に月島1丁目と3丁目に長くお住まいの10名の方々にインタビューを実施(ビデオ収録)
- テーマ・内容に沿って編集しショート動画を約50本制作
- 【テーマ分類】
 商店(街)、交通、年中行事
 戦中戦後、近所づきあい
 路地・長屋、生活・風景
 子どもの遊び、食・娯楽

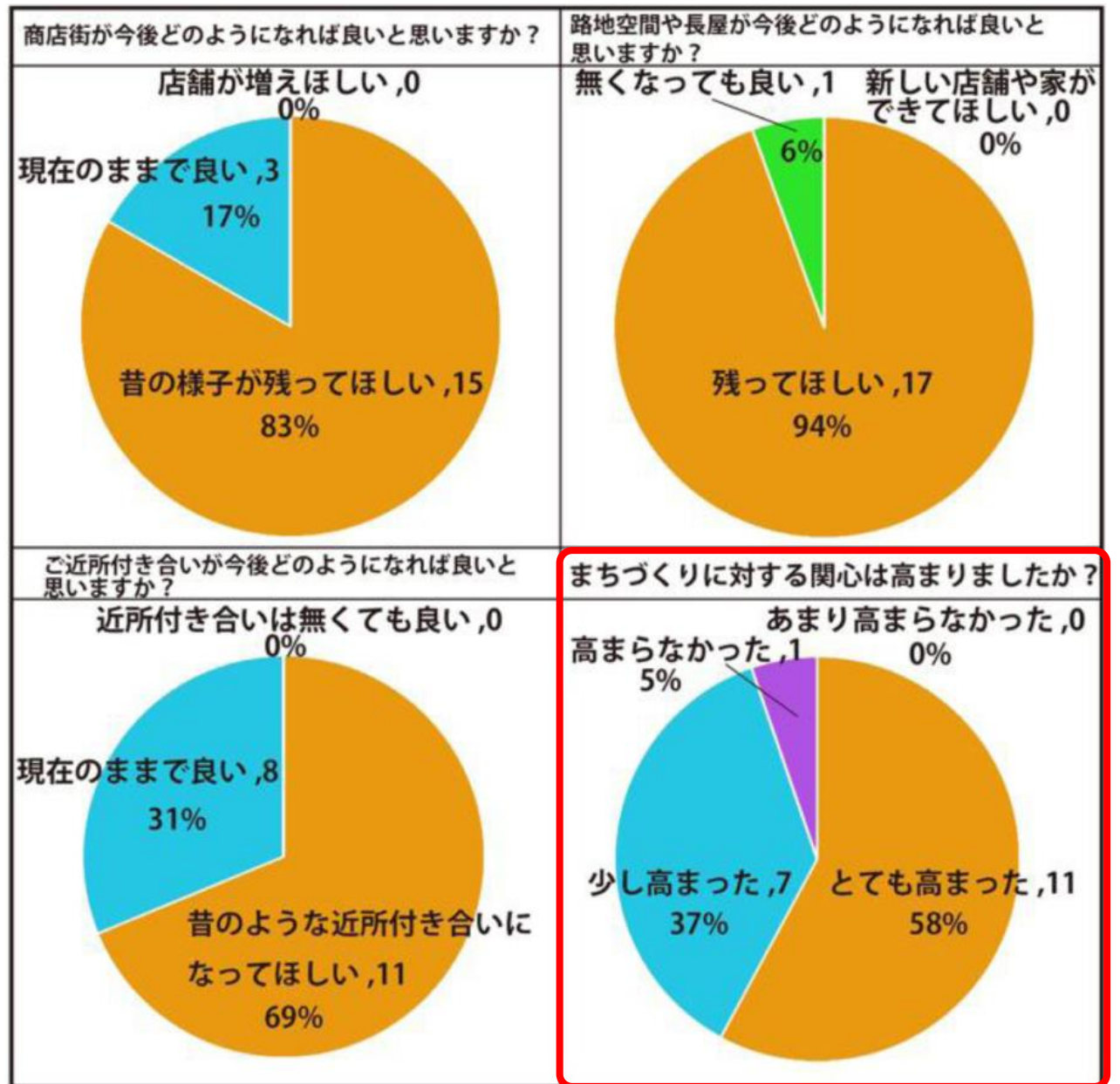


大学・学生との連動 月島生活者を対象にした ワークショップ(19人)



「オーラルヒストリー・ビデオマップ」を用いたまち歩きワークショップ。

1回目:口頭によるガイド、2回目:その場所に関連するインタビュービデオを視聴しながらのまち歩きを実施し、それぞれアンケートをとった。結果、2回目は、まちに対するイメージがガラリと変わった。



実施内容…

上映会 & 意見交換会 (コミュニティの将来像の構築)

- 来場者(芳名帳に記入下さった方)63名
スタッフ(月島長屋学校、芝浦工大学生)約10人
- 10時～14時 上映会
- 14時～16時 志村教授の講演
グループ別の意見交換、発表



心に残る・未来に残したい記憶 「月島百景 ～第一集～」



【昭和初期～戦中】・西仲通り夜店の賑わい・水のたまった防空壕・軒に4家族が同居【昭和20年代】・月島の渡し
・ご飯を分け合う近所づきあい・合成酒を飲む職工さん・開きかけの勝間橋を走って渡る【昭和30年代】・裏路地の生活景
・植栽の思い出・正月の獅子舞・東映のしょんべん映画館と芝居小屋・遊び【昭和40年代】・電子レンジの貸し借り
・住民同士の助け合い・もんじゃ焼き【昭和50年代～】・粘土型屋・路地のドロケイ・届け物を預かる近所づきあい
…など、個人の「生活の記憶」に焦点をあてたインタビュー・ショート動画を約40本上映します。



月島らしい人々の営みに関するビデオ 上映会 & 意見交換会

2019年2月23日(土) 10時～16時 佃区民館(無料)

月島らしい人々の営みと生活文化に関するインタビュービデオを制作しました。月島に長く暮らす方々の「生活の記憶」に触れることが、まちへの理解・愛着を深め、世代間交流を育み、今後のコミュニティづくりにも有意義だと考えて活動しています。このビデオを上映するとともに、活用方法などに関する意見交換を行います。ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください!

当日のスケジュール

10:00～14:00 動画の上映
動画を繰り返し上映します。お気軽にお立ち寄りください。

14:00～16:00
* 月島におけるオーラルヒストリービデオの意義
(芝浦工業大学 志村秀明教授)
* 意見交換会: 動画の感想や思い出を語り合いながら
動画の活用等についてご意見をいただきます。



「上映会 & 意見交換会」での意見、アイデア

< 月島百景ビデオの宣伝方法について >

- 銭湯、高齢者施設、商店街、都営地下鉄、タクシーなどでビデオを流す
- 小・中・高校の教材として教育の場で使う ・ 行政にアプローチ
- 観光協会HP に入れてもらう ・ 中央区の広報を活用する ・ SNS で宣伝する
- 外国人向けボランティア用の教材にしてもらう
- もんじゃ焼き屋のメニューの裏面にマップを貼る

< 月島百景ビデオの活用方法について >

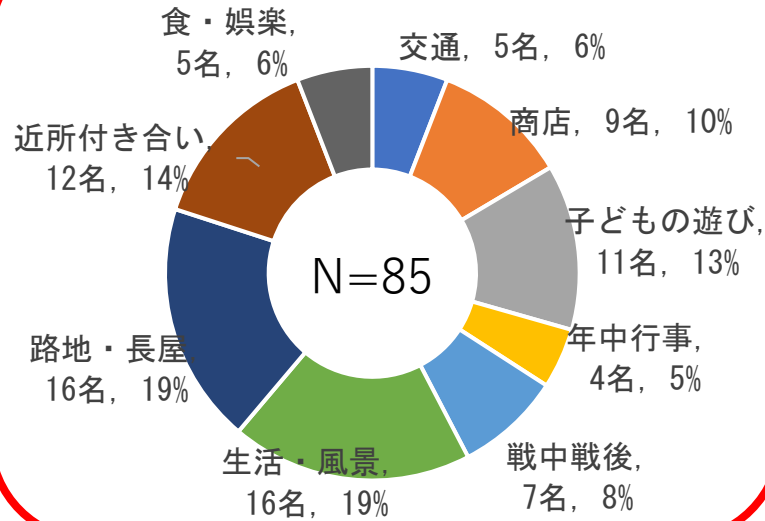
- 上映会、セミナーの開催 ・ まち歩き、観光案内で活用する ・ 英語版の制作
- 他のメディアとリンクさせる ・ 第二弾、第三弾を作り、継続的にやっていく

< 月島の将来像 >

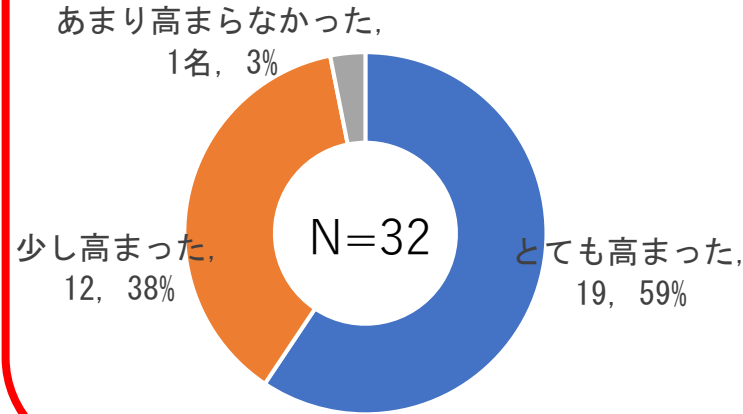
- 近所づきあいが残るまち ・ お互いに助け合える人づきあいのまち
- 活性化のためには、町会だけではなく多くのコミュニティが必要
- 小学校へシニアを定期的に派遣、子どもとシニアが触れ合う機会を作る
- 旧民と新民（マンション住民）の融合 ・ 月島長屋学校など、地域の拠点づくり

「上映会 & 意見交換会」のアンケート結果

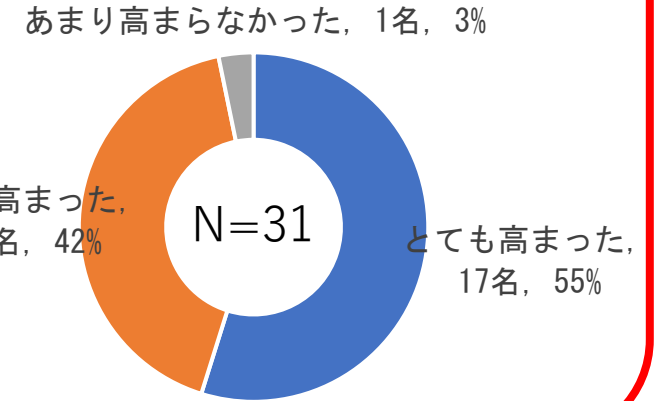
どのテーマが興味深かったですか



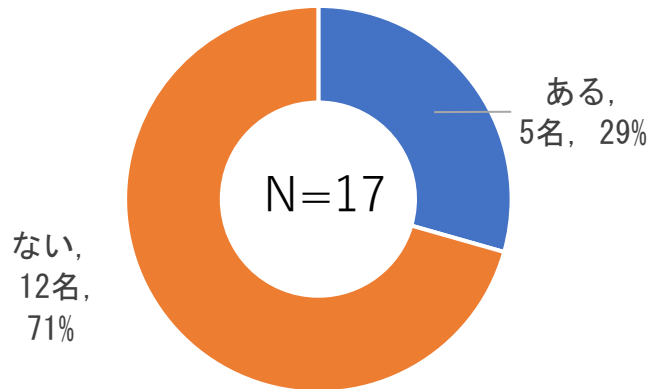
月島に関する理解は高まりましたか



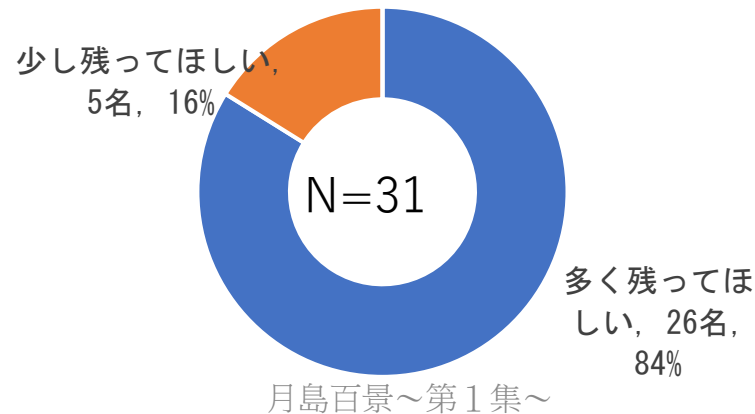
まちづくりに関する関心は高まりましたか



ご自身「月島百景 ビデオ」を活用する機会がなにかありますか



月島らしい営みや生活文化、今後どうなってほしいですか



**回答者のほとんどが
月島に対する理解
まちづくりに関する関心
…が高まったと回答**

制作物（コミュニティ史の編集）…HP、DVD、月島オーラルヒストリービデオマップ

収録した動画のタイトル

- 01 自宅周辺にあった繁華街(昭和19年頃まで)
- 02 西仲通り・夜店のにぎわい(昭和10年代前半)
- 03 造船通り・西仲通り商店街のにぎわい(昭和14年頃)
- 04 草市のにぎわい(戦後)
- 05 月島の渡し(昭和20年代)
- 06 跳開し始めた勝開橋を走って遊ぶ(昭和20年代)
- 07 利き酒の名人だった父夏の酒飯流(昭和20年代)
- 08 合成酒を飲む職工さんとの会話(昭和20年代)
- 09 街頭録音と街頭テレビ(昭和20年代)
- 10 東映のしんべん映画館と芝居小屋(昭和30年代)
- 11 行事を楽しみ協力する絆(昭和40年頃)
- 12 屋台で買ったおでん・寮パン(昭和50年代)
- 13 愛国主義教育になっても子どもはほすも(戦中)
- 14 水にまつわる幼少期の遊び(昭和20年代)
- 15 リーム転がし缶ばっくり(昭和20年代)
- 16 中学生の頃の遊び(昭和27年頃)
- 17 隣近所に上がりこんで遊んだ幼少期(昭和30年代)
- 18 おちこち走り回ってフィールドに遊んだ頃(昭和30年代)
- 19 もんじり屋(昭和30年代)
- 20 正月家の座敷で楽しんだ獅子舞(昭和30年代)
- 21 ホールで聞いた壁の穴(昭和50年代)
- 22 月島ならではのドケイ(昭和50年代)
- 23 駄菓子屋・当たり村のあんこ玉(昭和50年代)
- 24 子ども向けのもんじり焼き屋(昭和50年代)
- 25 粘土型屋のおしさん(昭和50年代)
- 26 小さい子の歯倒を見ながら遊ぶ(昭和50年代)
- 27 清海センタースーパーカーコレクション(昭和50年代)
- 28 子どもは自宅で産まれる時代(昭和7年頃)
- 29 路地の生活景(昭和10年代)
- 30 先生に聞かれ父親から言われたこと(昭和16~24年頃)
- 31 一軒に四家族が暮らす(戦中)
- 32 水の溜まった防空壕(戦中)
- 33 清澄通りを戦車が走る(戦中)
- 34 知らない人が座っている(戦後)
- 35 米が貴重だった頃のお弁当の交換(戦後)
- 36 近所との行き来が盛んだった頃(昭和20年代)
- 37 気前よくご飯を分けてあげる母(昭和20年代)
- 38 人情味溢れる近所とのやりとり(昭和20年代)
- 39 読書好きだった女学生の頃(昭和20年代)
- 40 近所で集まってテレビを見に行く(昭和30年代)
- 41 ジンチョウゲの思い出(昭和30年代)
- 42 路地のおつけ大会(昭和30年代)
- 43 夏路地の生活景(昭和30年代)
- 44 月島に嫁いだ時の驚き(昭和40年頃)
- 45 地域の先輩から学ぶ(昭和40年頃)
- 46 親戚のようなお隣さん(昭和40年代)
- 47 「電子レンジ」買〜して(昭和40年代)
- 48 互いに配達荷物を預かる(現在まで)

お読みいただいた方のプロフィール

心に残る・未来に残したい記憶
月島百景 ~第1集~

代表者：一般社団法人 和のたしな美塾 代表 宮本孝敏
協力：足立工業大学地域デザイン研究室 月島長屋学校
月島高志館前会 ボケート・クリエイション
ホームページ URL tsukishima100.com

心に残る・未来に残したい記憶

月島百景

~第1集~

Movie

Photo Map

About us

News Information 過去の記事一覧を見る

2019.02.26 【上映会】月島歴史交差点 多数のご参加ありがとうございました

2019.02.07 【月島百景 第一集】 月島らしい日々の暮らしに関するビデオ上映会と歴史交差点会 (2月22日☆☆☆区展覧) のお知らせ

過去の投稿 記事一覧を見る

昭和22年頃と昭和31年 月島3丁目の路地の景観

昭和30年代? 勝開橋の鉄筋

2019年2月20日

2019年2月16日 月島3丁目の路地

月島 昭和15年頃

清海橋 昭和18年頃

月島オーラル・ヒストリー・ビデオマップ

※ピンと同じ番号の動画をARでご覧ください
※内容によりピンの位置が正確でないものもあります

- 1 自宅周辺にあった繁華街(昭和19年頃まで)
- 2 西仲通り・夜店のにぎわい(昭和10年代前半)
- 3 造船通り・西仲通り商店街のにぎわい(昭和14年頃)
- 4 草市のにぎわい(戦後)
- 5 月島の渡し(昭和20年代)
- 6 跳開し始めた勝開橋を走って遊ぶ(昭和20年代)
- 7 利き酒の名人だった父夏の酒飯流(昭和20年代)
- 8 合成酒を飲む職工さんとの会話(昭和20年代)
- 9 街頭録音と街頭テレビ(昭和20年代)
- 10 東映のしんべん映画館と芝居小屋(昭和30年代)
- 11 行事を楽しみ協力する絆(昭和40年頃)
- 12 屋台で買ったおでん・寮パン(昭和50年代)
- 13 愛国主義教育になっても子どもはほすも(戦中)
- 14 水にまつわる幼少期の遊び(昭和20年代)
- 15 リーム転がし缶ばっくり(昭和20年代)
- 16 中学生の頃の遊び(昭和27年頃)
- 17 隣近所に上がりこんで遊んだ幼少期(昭和30年代)
- 18 おちこち走り回ってフィールドに遊んだ頃(昭和30年代)
- 19 もんじり屋(昭和30年代)
- 20 正月家の座敷で楽しんだ獅子舞(昭和30年代)
- 21 ホールで聞いた壁の穴(昭和50年代)
- 22 月島ならではのドケイ(昭和50年代)
- 23 駄菓子屋・当たり村のあんこ玉(昭和50年代)
- 24 子ども向けのもんじり焼き屋(昭和50年代)
- 25 粘土型屋のおしさん(昭和50年代)
- 26 小さい子の歯倒を見ながら遊ぶ(昭和50年代)
- 27 清海センタースーパーカーコレクション(昭和50年代)
- 28 子どもは自宅で産まれる時代(昭和7年頃)
- 29 路地の生活景(昭和10年代)
- 30 先生に聞かれ父親から言われたこと(昭和16~24年頃)
- 31 一軒に四家族が暮らす(戦中)
- 32 水の溜まった防空壕(戦中)
- 33 清澄通りを戦車が走る(戦中)
- 34 知らない人が座っている(戦後)
- 35 米が貴重だった頃のお弁当の交換(戦後)
- 36 近所との行き来が盛んだった頃(昭和20年代)
- 37 気前よくご飯を分けてあげる母(昭和20年代)
- 38 人情味溢れる近所とのやりとり(昭和20年代)
- 39 読書好きだった女学生の頃(昭和20年代)
- 40 近所で集まってテレビを見に行く(昭和30年代)
- 41 ジンチョウゲの思い出(昭和30年代)
- 42 路地のおつけ大会(昭和30年代)
- 43 夏路地の生活景(昭和30年代)
- 44 月島に嫁いだ時の驚き(昭和40年頃)
- 45 地域の先輩から学ぶ(昭和40年頃)
- 46 親戚のようなお隣さん(昭和40年代)
- 47 「電子レンジ」買〜して(昭和40年代)
- 48 互いに配達荷物を預かる(現在まで)

凡例

- 商店(街)
- 年中行事
- 交通
- 食・娯楽
- 子どもの遊び
- 生活・風景
- 戦中戦後
- 路地・長屋
- 近所つきあい

次年度以降の課題と展開(検討中)

<学校教育との連携>

- 元小学校教員「小学校の社会科の授業で取り上げてもらってはどうか」
4月に一緒に月島第一小学校を訪問予定
- 佃中学・晴海中学…冊子の配布、DVDの提供、教育活動との連携を打診

<記憶の採集の場＝高齢者の認知症対策>

- 高齢者が集まる場や施設でのインタビュー収録の検討（教育との連動）

<ビデオの活用の場>

- 年数回、ビデオマップを使ったまち歩きを呼びかける
- マンションや町会と連携して新旧住民の交流を図るイベントを企画

<活動に対する理解促進、すそ野を広げる努力>

- 地域や他の活動との連携、参加しやすい組織づくり

無理なく適材適所で実行するための組織(検討中)

仮称「月島オーラルヒストリー&コミュニティづくりの会」の立ち上げ

わが町への理解・愛着を深め、世代間交流を育み、
「支え合い 助け合う」コミュニティづくり・まちづくりにも活かしていく・・・

- メンバー…月島長屋学校（一般）、芝浦工大地域デザイン研究室（学生）
町会、商店会、文化活動団体など協力を申し出ていただいた方々 など
- 「オーラルヒストリーの意義」「ビデオ収録方法」講習会

活動テーマと優先順位を決めて役割分担

- 「教育現場との連携」…元教員、PTAイベント⇒佃中・晴海中、月一小（4月訪問）
- 「新旧住民の融合」…町会・マンション⇒出前上映会&意見交換会
- 「区民や観光客へのPR」…商店会、行政、区内全校への配布、SNS
- 「記憶の採集」…人選、高齢者施設・集いの場＝教育との連動
- 「情報の更新・発信」…更新、ニーズに沿ったコンテンツづくり
- 「現在の月島」…写真・動画撮影 など

中央区文化推進事業 審査員の評価(陣内秀信先生ほか)

- ・大変すばらしい。記憶を残していく手法の、一つの雛形になっている。他の地域の参考になる。10人のインタビューを50の小話に編集している手法もいい。
- ・（意見交換会など）コミュニティづくりがプロセスの中でできているのも素晴らしい。
- ・応用はいろいろある。祭り、川で泳いだ記憶、鉄工所・造船所、戦争前後など、月島の社会的・経済的な側面や、いろいろな人々がいたことなども浮かんでくる。
- ・一方で、テーマをさらに絞り込み、いろいろな人にきくといい。月島の価値が見えてくる。さらに突っ込んでほしい。
- ・大学と連携したケースも初めてではないか。さすが志村先生だ。
- ・東京にはこうした活動は少ない。谷根千のようにファンづくりを行い、冊子やマップを販売してはどうか？志村先生のマップも販売したらいい。
- ・他エリアで同様の試みをやってもなかなか難しい。よくまとまっている。図書館への提供など使い方により広まるだろう。行政主体でやるべき活動にも思える。
- ・もんじゃのメニュー裏に掲載するとか、高齢者の認知予防との連動などはぜひやってみてほしい。今年度の取り組みも、朝日新聞で取り上げたい。
- ・（教育、地域学習との連動）子どもたちの地域に対するアクションに繋がってこそ成功と言える。それはどんな小さなこともでもいい。期待している。